

「東南アジア青年の船」 花嶋咲良 (2017SA)

◆青年の船とは何

「東南アジア青年の船」事業は、1974年のインドネシア共和国、マレーシア、フィリピン共和国、シンガポール共和国及びタイ王国の各国と日本国との共同声明に基づいて始められた事業であり、これら東南アジア各国（これに、1985年度からはブルネイ・ダルサラーム国が、1996年度からはベトナム社会主義共和国が、1998年度からはラオス人民民主共和国及びミャンマー連邦共和国が、2000年度からはカンボジア王国がそれぞれ参加）の積極的な参加と協力の下に、日本国政府（内閣府青年国際交流担当室）が実施しています。

◆どのような目的のプログラムなのか？

この事業は、日本と東南アジア10か国の青年が、「東南アジア青年の船」に乗船し生活を共にする中で、各国事情の紹介や討論を行うとともに、船内及び訪問国において各種交流活動を行うことにより、相互の友好と理解を促進し、あわせて日本の青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神の醸成と国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる青年を育成するとともに、青年による青少年健全育成活動等の社会貢献活動への寄与を目的としているものです。